

先進的マルチキャリア博士人材養成プログラム

(実施期間：平成 21～25 年度)

実施機関：千葉大学（総括責任者：齋藤 康）

プロジェクトの概要

学長を総括責任者、産学連携・知的財産機構長（研究担当理事）を統括実施責任者とし、全学支援体制のもと、先進的マルチキャリア博士人材を養成する。対象領域を理学、工学、融合科学、園芸学、医学薬学の理工系 5 領域とし、養成対象者は本学博士後期課程の学生（ポストク含む）から厳正に公募する。学内外委員で構成されるプログラム履修者選定委員会において審査基準に基づき選抜した 20 名／年の養成対象者は、各希望を考慮したキャリアパスに沿い、多様な教育プログラムが適用される。そして、“**技術完成力**”、“**技術経営力**”、“**技術交渉力**”の強化に向けた博士人材養成を実施する。

本プログラムは養成対象者、本学理工系 5 領域の大学院、国内外協力企業、(財)千葉県産業振興センターによる 4 者の連携のもと実施する。人材養成室において、学内委員、国内外協力企業、(財)千葉県産業振興センターで構成する各プログラム委員会による養成プログラムに基づく継続的フォローの実施とともにアドバイスや評価を行う。外部有識者を交えた運営会議を最高決定機関とし、**技術完成力**、**技術経営力**及び**技術交渉力**の各プログラム終了時に厳正な各評価基準に基づく評価を行い、修了を最終的に決定する。

(1) 評価結果

総合評価	進捗状況	イノベーション人材養成システム改革状況	実践プログラムの開発・運用状況	実施体制	今後の進め方
S	s	a	s	a	s

総合評価：S（所期の計画を超えた取組が行われている）

(2) 評価コメント

グローバルな視点に立ち、海外でのインターンシップ実施体制を整備するなど、プログラム趣旨に沿った体制整備が成されており高く評価できる。千葉大独自のカリキュラムを確立した上で、インターンシップ先のアジアへの展開、国内の他機関への展開を期待する。

- ・**進捗状況**：実施体制は確立され、プログラムの運営は既に軌道に乗っている。養成者数は目標を上回るとともに、企業への輩出数もほぼ目標に達しており、高く評価できる。
- ・**イノベーション人材養成システム改革状況**：千葉県の地域性を活かした人材養成システムを構築したほか、カナダ・米国・中国の大学と連携し、海外での人材養成拠点を築くなど、注目すべき展開を行っている」と評価できる。今後、カナダの提携校に頼らない千葉大独自のネットワ

ークを利用し、欧米だけでなくアジアへの展開を図ることを期待する。

- ・ **実践プログラムの開発・運用状況**：多様な座学を含むカリキュラム整備と企業現場における実践、講師陣の充実度、民間企業との協働関係の構築などについて、高く評価できる。
- ・ **実施体制**：学長のリーダーシップの下、積極的に取り組む姿勢は評価できる。医学・薬学など生命科学系への積極的な展開を期待する。
- ・ **今後の進め方**：本事業で開発したプログラムを企業に提供することと、企業からの長期取組費用の一部負担の実績をベースに、企業との強力な連携を維持しながら本プログラムを継続していく資金計画が具体的に立てられており、実現することを期待する。ソーシャル・アントレプレナーを創出するよう、また、真に全学的取組となるよう、日本人養成者の比率を増やすように努めるとともに、医学・薬学など生命科学系学部への展開にも積極的に取り組むことを期待する。